



さかいいっこ かけはし通信

No.3 2025.7 堺市幼児教育センター



幼保小接続支援事業やワクワクひろば事業等での、幼保小の交流が始まっています。

1年生と年長児
の交流
「どろんこ遊び」

川をつくって
つなげよう

裸足になってダイナミックに
遊ぶ中で、楽しさを共有したり、
関わりが生まれたりしているな！



遊び慣れた環境だから、年長
児も1年生も安心して遊んで
いるな。



今日は、それぞれ自分のしたい
ことに夢中になっているな。
これから交流を重ねていく中で、
関わりがどう変わっていくかな？



おもしろそう！
一緒にやってみよう

就学前施設では、やわらかな砂の砂場、バケツやスコップなどの道具、水を使う環境等が整っており、そのような環境で交流をすることで、年長児も1年生も安心して気持ちを開放しながら活動していました。1年生は小学校に戻り活動をふりかえることで、年長児との今後の交流についても考えていく機会にしたいとのことでした。それぞれの時期で見られるこどもの姿を大切に捉えながら、先生方が話し合い、見通しをもって次の計画に活かしていくことが大切です。

自分たちの
グループでも
やってみたいな

第2回幼保小
合同研修会

この時期の様子を
見に行きたいな！



昨年度、幼保小接続
支援事業に取り組ん
だ小学校からの実践
報告がありました。



互いの授業や保育
を参観できるよう
「架け橋カレンダー」
を作成しました。

開発会議の
様子



幼児期及び幼保小の接続期の教育の質向上に向け、「架け橋期のカリキュラム」開発会議を立ち上げています。今年度は、堺市共通版の「架け橋期のカリキュラム」の作成をめざしています。

次ページは、文部科学省から資料提供いただいたポスターです。幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズへのリンク先もついています。是非、ご覧ください。

幼児期に 本当に大切な学びって 何ですか？

幼児期は、「遊び」の中で周囲のヒト・モノ・コトに自ら進んで関わりながら、豊かで多様な体験を通して、様々な「学びの芽」を育てていく時期です。

小学校以降の学びの基礎となる「学びの芽」。

そんな「学びの芽」はどのように育まれているのでしょうか？



見てね！



幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ



幼児教育は何のため？
(約2分)



「遊び」は「学び」って
どういうこと？
(約7分)



「学びの芽」を育む
多様な遊び
(約9分)



「学びの芽」を育む
どろだんご遊び
(約7分)



遊びは学び 学びは遊び
“やってみたいが学びの芽”



文部科学省